



December 2008 Newsletter

College for International Co-operation and Development



Dear friends and future volunteers

Happy Christmas and New Year!

今回のニュースレターの内容は以下の通りです。

1. ノルウェーで行われた Development Conference
2. ガイアプログラムの学習活動－12月「地球科学とガイア論」－
3. ナミビアでの活動を通して学んだこと－By 稲川武－
4. Humana People to People の活動紹介－HIV/AIDS に向けての取り組み－
5. マラウイでの活動を終えて－By ダニエル・ベッティニー
6. モザンビークでの活動報告を直接に聞いて－By EJ－

Development Conference in Norway

CICD の 2008 年 9 月チームは、毎年、ヨーロッパの DRH スクールの DI たちと Development Conference という特別活動に参加します。（注：他のチームも特別活動があり）今回の Development Conference はノルウェーで行われました。

今年の私たち CICD のプレゼンテーションの議題は「食糧安全と食糧生産」についてでした。私たちは自分たちだけがプレゼンテーションを行うのではなく、他の DRH スクールの DI たちのプレゼンテーションも拝聴しました。彼らの議題は、ミレニアム開発目標、地球温暖化、水の供給、教育、貿易や世界の子どもたちについてでした。また、私たちは TCE プロ

ジェクトで活動しているジンバブエ出身のアビガイルという女性から、彼女の活動内容やプロジェクトについてのプレゼンテーションを拝聴する機会もありました。



2008 年 9 月チーム パブロ・セラノ

ノルウェーで行われたイベントの詳細については、下記 URL をご参照下さい。

・CICD 公式ウェブサイト（英語）

【<http://www.cicd-volunteerinafrica.org/Articel.asp?NewsID=280>】

・CICD ブログ（日本語）からも、実際に参加した学生による感想がご覧いただけます。

【<http://volunteermemories.blog94.fc2.com/blog-category-2.html>】

ガイアプログラム学習活動／12月編「地球科学とガイア論」

先月からお伝えしている、ガイアプログラム学習活動の第2弾を紹介いたします。ガイアプログラムは月に1度「Residential School（寄宿学校）」と呼ばれる大規模な学習活動が行われ、各月ごとに毎回、学習する内容が決められています。

今月の学習議題は「地球科学とガイア論」でした。その中でガイアプログラムの人々に与えられた課題は、チームごとに異なる世界地域の植物と砂漠の動物たち、森林、水と湿地、草原、海洋、ツンドラの景観を準備した箱で表現し、それに沿ってプレゼンテーションを行うことです。

各チームが選択した議題についてそれを表現した箱を作成し、事実と数字を私たちに伝えることは、とても面白いチャレンジでもありました。プレゼンテーションの最後には、箱を作成したアイデアやインスピレーションも語られ、各チームの個性を楽しむことができました。

彼らはまた、今日の各バイオームを50年前のそれと比較し、次の30年以内に起こるバイオームの変化についての予測もしました。また、それと並行して、彼らはナミビアのバイオームについてのプレゼンテーションを拝聴し、ナミビアの Humana People to People が行っている植林活動と環境プロジェクトについてのドキュメンタリー映画を見ました。

その後は、「惑星の道のり」と題された面白いプレゼンテーションを拝聴しました。彼らはこの期間、太陽系の一部としての地球を見ました。このプレゼンテーションで最も面白かった部分は、私たちが惑星の間の（驚くほど大きい）距離を歩測したということです。そして、彼らはこのプレゼンテーションを通して、各々の事実を聞くことができました。

その他にも、ガイア指導教員ウェンディによるジェラルド・ダレルの人生と彼の仕事についてのプレゼンテーションを拝聴し、ガイアプログラムの人々はウェンディから彼の本のいくつかをクリスマスプレゼントとして与えました。



通称「バイオーム」と呼ばれる箱



土曜日の夕方は歌ったり、クリスマス・デコレーションを作ることで、とてもリラックスしたプログラムとなりました。



Residential School の最後は、イースター島についてプレゼンテーションで結びました。それは私たちの質問の1つであったので、とても楽しく拝聴することができました。

What I learned from Africa



私は稲川武といい、ナミビアのチャイルド・エイドと環境プロジェクトで活動していました。私はナミビアでの活動終了後、事後研修をザンビアで過ごし、そこでHOPEプロジェクトを視察しました。

ナミビアでの活動

私がウィントフック（ナミビアの首都）空港に到着したとき、私はあまりの暑さに「気温が 40 度を超えているのではないか」と感じたくらいでした。

私はナミビア北部のオムサティという、アンゴラの国境に近い州で活動していました。この州はとても辺境で、近くの都市までは 100km 以上も離れています。

私はプロジェクトで、とても多くのすべき仕事を与えられました。なぜならば、このプロジェクトは実に多くの異なるプログラムによって運営されているからです。プログラムには苗床、孤児の生活技術のトレーニングと支援活動、HIV/AIDS 予防キャンペーンの遂行、植林活動などがありました。これらの全てのプログラムはとてもよく、現地の人々への草の根の協力を可能としていました。

私が特に最も好んだ活動は、木の苗床活動です。10,000 以上の苗木（果物や花の木も含む）があり、私は 1,000 本のフルーツの木を、250 人の孤児たちと辺境で生活する子どもたちに配りました。孤児たちはその木から実る果物を販売することでいくらかの収入を手にすることができ、そしてまた、木は彼らの環境を保つことに貢献しました。活動地域の人口の 20% 以上の人々は HIV/AIDS に感染し、それと同様に、孤児の数も増加していました。木々は薪と家畜を育てるスペースをつくるために切り落とされます。これはアフリカにおいて、とても複雑で困難な問題でもあります。

私は自分のプロジェクト・リーダーから、とても興味深い仕事をもらいました。それは、森林地と環境に貢献したプロジェクトの 15 年間についてのドキュメンタリー・フィルムを作成することでした。私はこの仕事をとても楽しみ、フィルムを作成している間に私はいくつかの学校、村と古いプロジェクトの場所において実に多くの人々と出会いました。私はこのフィルムが、プロジェクトの寄付者への報告を兼ねるとともに新しい支援者を得ることを可能とし、プロジェクトに多大な貢献をすることを願います。

下記 URL から彼が作成したフィルムをご覧ください。

【<http://cicdvolunteer-japan.org.uk/newslettersandmovies.html>】

ザンビアでの活動

事後研修のザンビアでは、私は HIV/AIDS とともに生きる人々を支援する HOPE プロジェクトを視察しました。私は今までの自分の人生の中で、あと少ししか生きられないのにも関わらず、少しでも長く生きようとする偉大な人々に出会ったことがありませんでした。コミュニティでは、彼らが恥辱として扱われていても、彼らはとてもオープンでそれでいて正直でもあり、また、彼らの家族の食糧と教育の安全に苦心していました。だからこそ、私たちは彼らにサポート・グループにきて一緒に働いて戦うことを提案しました。

私たちはとても多くのミーティングをもち、どのように食糧栄養を確保して前向きに長く生きていけるかなどについて話し合いました。そして、私は日本の医療 NGO にいくらかの支援を頼むこともしました。

事後研修はとても短い期間でしたが、私は彼らから多くのことを学びました。「例えそれがとても難しい状況であっても、あなたはまだ生きることができる」「あなたは決して諦めてはいけない。なぜならば、そこにはあなたができる多くのことがあるからだ」これが、私が彼らから学んだことです。

伝統民族との出会い

アフリカでの活動中に最も注目すべき点は、ナミビアで 2 種類の民族に出会ったことです。1 つはヒンバと呼ばれる、古代からナミビア北部だけに生活する民族です。ある人々は、「彼らはナミビアの最後の遊牧民である」と記述しています。彼らの生活は完全に遊牧生活で、自然の規則に従って生きています。彼らは自然からの道具を使用し、それは今までに無駄になったことはありません。私が気づいたことに、先進国で生活する方法はこの星で生きるための唯一の方法ではありません。私は確かにこのような生活を、私が環境保護に興味をもちだしたときから探していました。ヒンバの人々は貧しく栄養失調のように見えますが、実際のところ、彼らは強く生きて厳しい状況下でも幸福に生きるための豊富なアイデアを持っています。

もう 1 つ、私が出会った伝統民族はサンです。人々は彼らを「ブッシュマン」と呼んでいます。実際に彼らは、1990 年にナミビアが独立を果たす前は狩猟民族でした。しかし、今、彼らは狩猟することを許されていないため狩猟はしておらず、政府による食糧供給と教育の援助を受けています。彼らは生活スタイルを完全に变えることを余儀なくされたがゆえに、現在、彼らはナミビアの最も貧しい人のように生きています。私は彼らと一緒に生活し、多くの質問をしました。しかし、彼らが多くのものを失ったなかでも、彼らがいまだに自分たちの言語、ダンスや歌などを大切にしていることを見つけました。だからこそ、彼らはいまだに未開の自然の中で生活することができるのです。私は彼らの文化、受容力や違う視野が大好きです。

最後に

私は、発展が本当にこれらの先住民の両方ともにとって何を意味するかについてわかっていませんでした。アフリカはあなたがテレビで見ているように、ただひどい状況に直面しているだけの大陸ではありません。あなたが異なる見解から見れば、アフリカは肥沃な大陸です。

私は、先進国の労働者がこれを再び見なければならぬと思います。アフリカの人々には、彼らの従来生活様式を楽しむことができ、経済成長に関する異なる意見があります。

私は私たちの行う「開発援助」が、アフリカ人自身が彼らの多くの異なる文化、人々と大きな性質を保つことができ、先進諸国のように「現代化されない」のを願います。 稲川武

世界エイズ・デーにあなたは何をしましたか？

みなさん、12月1日はどう過ごされておりましたか？クリスマス前ということもあって、多くの人々はこの重要な日を忘れていたかも知れません。CICDではこの日、TCE (Total Control of the Epidemic) プロジェクトを支援するための募金活動を行いました。



TCEはHIV/AIDSの広がりに対して戦う新しい方法として、Humana People to Peopleによって開始されたプロジェクトです。TCEの活動概念は、「人々だけが感染症から彼らを解放することができる」です。

下記のURLからTCEの活動についての詳細がご覧いただけます。

[【http://www.humana.org/TextPage.asp?MenuItemID=42&SubMenuItemID=146】](http://www.humana.org/TextPage.asp?MenuItemID=42&SubMenuItemID=146)

この考えとともにTCEプロジェクトは、プロジェクト活動地域（農村）の1人1人に面と向かって、彼らにしっかりとした情報とアドバイスを定期的にアプローチします。

それは大きな仕事ですが、不可欠で価値があるものです。私たちの多くはボランティアとして、南部アフリカTCEプロジェクトに派遣されます。ボランティアが例え他のプロジェクトへ派遣されても、毎日HIV/AIDSの問題に直面しなければなりません。

そこで私たちは何をしますか？もちろん、私たちはHIV/AIDSとPositive Livingについて知識を習得することができます。私たちはまた、HIVとともに生きている人々をサポートするサインとして、HIVについて語るサインとして、レッド・リボンを身につけることもできますでしょう。



運良く、私たちはすでにタイムズの「HIV/AIDSの10ルール」と呼ばれる、とても実践的な出版物を学習してきました。

これは基本的に、人々ができる明確で実践的なものです。特にPositive Livingには重要なものがありますが、HIV陰性である人々にも不可欠なものです。

- 人々への8ルール：
- ルール1 - 清潔な水
 - ルール2 - 寄生虫の感染(寄生虫の駆除)
 - ルール3 - 食糧
 - ルール4 - ビタミンと微量栄養素
 - ルール5 - 衛生
 - ルール6 - 結核のコントロール
 - ルール7 - マラリアのコントロール
 - ルール8 - HIV感染からのコントロール

これに加えて、HIVとともに生きている人々に対して、私たちはルール9「コトリモキサゾールの分配」と、ルール10「理解力のあるARVトリートメント」があります。これらの単純な「ルール」を教えることと、彼らに実行して助けことが私たちが本当にできることです。これらの単純な「規則」と助けになる人々についての教育によって、我々は文字通りに変えることができ、命を救うことができます。

ルール 1 - 清潔な水

なぜ? 人間は1日に、少なくともグラス8杯の清潔な水を飲まなければなりません。しかしながら、清潔ではない水を飲むことによって、人間は免疫システムにバクテリア、パラサイトと寄生虫にかかることがあります。

活性化した免疫システム CD4 細胞は、HIV を受け入れます!

どのように?

1) 水の消毒 (塩素) 処理

家において水の塩素消毒を行う。

2) UV 放射線 (日光)

明白なプラスチックビンを使用し、4~8時間、日なたの暗い背景に置くことによって水を加工処理することができます。

3) 沸かす/濾過

水を10分間沸かす/水を濾過する

ルール 2 - 寄生虫の駆除

なぜ? 寄生虫は特に衛生システムが悪い場所において、普通にかかることです。世界人口の4分の1の人々は、寄生虫に感染します。

寄生虫の感染はあなたの免疫機能を害します。これは HIV、または結核にかかっている人にとってとても重要なことです。

どのように?

1) 寄生虫を駆除するタブレット

薬剤師は、寄生虫を治療するタブレットを安価に販売することができます。家族全員は、4~6ヵ月おきに処置しなければなりません。

2) ダイエット

カボチャの種、ニンニク、ポーポー、スイカ、ニンジンとビートの根などの特定の食品は、寄生虫の感染を減らします。

3) 衛生

きれいな水やトイレの後に手洗いを行うことはとても重要なことです。

ルール 3 - 食糧

なぜ?

バランスのよいダイエットは、体がそれ自体を維持して感染症と戦うのを助けます。HIVに耐えている人々は十分によく食べて、多くの新鮮な果物と野菜でバランスのよいダイエットを受けるために余計に気をつけなければなりません。

どのように?

1) 炭水化物

体は砂糖と澱粉を、エネルギー (例えば穀物、米、パスタと砂糖) のために必要とします。

2) タンパク質

タンパク質の欠乏は、子供たちや弱い免疫系の障害の増大につながります。タンパク質は、例えば大豆、豆、レンズ豆、肉と卵から接種することができます。

3) 脂肪

体がそれ自体を維持するのに助けるために、脂肪が少し必要になります。料理油、マーガリンとアボカドから接種することができます。

4) 微量栄養

体はきちんと機能するために、ビタミンとミネラルを必要とします。総合ビタミン剤タブレットは、補助食品として飲むことができます。しかし、私たちは食物から、できるだけ多くの栄養を得なければなりません…食物が新鮮であるほど、それはより多くの微量栄養を含んでいます。

ルール 4 - ビタミンと微量栄養素

なぜ?

どんなストレスや慢性疾患でも、体には微量の栄養素の増加が必要となります。HIV に耐えている人々はしばしば、身体のストレスと栄養不足で苦しみ、病気と戦うことができなくなります。

どのように?

ハーブとスパイス。スパイスだけでなくこれらの植物は微量の栄養素をみ、体を強く保つことを助けることができます。ニンニクは、自然の抗生物質です。ニンニクは血清浄器なので毎日、接種して下さい。また、ハーブは免疫系を強くします。

ルール 5 - 衛生

なぜ?

衛生を好ましい状況で維持することは、清潔を保ち病気を予防することを意味します - それは、個人と環境の衛生を含みます。清潔な状態を保つことは、病気を予防することに不可欠な要素でもあります。

どのように?

個人衛生：皮膚は体を保護してカバーする、病気に対する最初の防御です。皮膚が無傷であってきれいで、匂いがいいことを確認することは、重要です。これは、歯を磨くことと同様に定期的に手洗いすること、水遊びと洗髪を意味します。

コミュニティ衛生：

コミュニティは、私たちが生きる環境です。そのため、病気の蔓延を止めるために、いつもきれいにしておかねばなりません。公衆衛生、トイレ/便所の使用、安全な水などが重要な点になってきます。



ルール 6 - 結核のコントロール

なぜ?

結核は細菌（小さな細菌）に起因する、長い耐久性があり簡単に蔓延する病気です。多くの人々は、これらの細菌に感染しています。しかし、私たちの体の防御システムが強いならば、通常、私たちは病気にはなりません。低い抵抗力しかない人は、より病気にかかる可能性が高くなります。

あなたが下記の項目を経験したとき、あなたは結核にかかっているかもしれません。

- 3 週以上、長く咳をすること。
- 痰や血を含む咳。

- ・ 食欲不振。
- ・ 体重減少。
- ・ 夜に汗をかく。
- ・ 呼吸に伴う難点（例えば息切れ）。
- ・ 胸の痛み。
- ・ 弱さや疲れていることを感じる。

どのように？

結核は正しい処置を行えば治療可能な病気であり、結核の疑わしい症例が完全に調査されることが重要です。そして、処置を行うときは、完全な処置を行わなければなりません。完全な処置は、大人であれば8カ月は続きます。

処置の際には薬物を飲むだけでなく、以下のことも重要になります。

- ・ エネルギー、タンパク質とビタミン分が高い食品を食べて下さい。
- ・ 十分に休み、睡眠をとって下さい。
- ・ 疲れると感じる、または呼吸が困難になるような活動は全て避けて下さい。

ルール7 - マラリアのコントロール

なぜ？

マラリアは赤血球を襲い、消耗、高熱、発汗、振れ、寒けと貧血症が起きる寄生虫病です。HIVに感染している人々はマラリアに対する少ない免疫しかないため、彼らがマラリアにかかった場合は、より多くの病気を簡単に発症します。

どのように？

マラリアの予防方法：殺虫剤による噴霧

- ・ 蚊が繁殖する淀んだ水と、水たまりを取り除いて下さい。
- ・ 高い芝生や蚊が休息できる家の近くにある冷たくて湿った茂みを取り除いてください。
- ・ 殺虫剤が使用された、モスキートン・ネットを使用してください。
- ・ 家の窓とドアを覆ってください。
- ・ 妊婦の予防治療を施して下さい。



マラリアの処置で大切なことは、以下のような早期発見と効果的処置です。

1. あなたがマラリアであると思ったときはクリニックに行き、医者に血にマラリア原虫がないかを調べてもらう必要があります。
2. マラリアと診断されたならば、例えあなたの体調が前より良くなってきたとしても、あなたは定められた処置を受けて全ての処置を完了しなければなりません。
3. あなたが処置を完了しても、まだ体の具合が悪いと感じるならば、あなたはクリニックに戻らなければなりません。

ルール8 - HIV 感染からのコントロール

なぜ？

HIV 感染は、ヒト免疫不全ウイルス (Human Immunodeficiency Virus) の体の侵入です。あなたが自分の HIV ステータスを知っていることは、とても重要です。あなたが HIV 陰性であるならば、あなたはそれを維持しなければなりません。あなたが HIV 陽性であるならば、あなたは他の誰にでも HIV を感染させることを避けなければならなく、再感染からも身を守らな

ければなりません。たとえ夫婦両方が HIV に感染してたととしても、異なるウイルスである場合があります。そのため、安全でない性交渉を行わないように、注意しなければなりません。
どのように？

性交渉を控えることは、あなたが HIV 感染から保護されることを意味します。1 人と性交渉をもち、誠実な、そして HIV 陰性の恋人は、あなたが保護されていると言っても過言ではありません。あなたが 2 人以上の性交渉の相手がいるとき、あなたが自分の HIV ステータスを知らない、またはあなたが性交渉の相手の HIV ステータスを知らない場合は、あなたは安全な性交渉を行わなければなりません...これは、非挿入する性交渉、またはコンドームの使用を意味します。

ルール 9 - コトリモキサゾールの分配 なぜ？

これは、肺炎 (PCP) を用いるエイズを治療して予防するときに効率的である、2 つの抗生物質の組合せです。また、他の感染症を予防して、改善された栄養分の吸収を促進します。

どのように？

コトリモキサゾールは、ほとんど副作用がなく、多くの病気を予防することに効果的です。これは、入手可能な医療薬品です。あなたが HIV 陽性で CD4 カウントが 200 以下にあるならば、あなたは予防 (防止) として、コトリモキサゾールの処方を得ることについて健康管理プロバイダーと話をしなければなりません。

ルール 10 - 「理解力のある ARV トリートメント」 なぜ？

アンティ・レトロウイルス・トリートメント (ARV) は、HIV を抑える 3 つの薬の組合せから成ります。それは、免疫系が回復することができ、体を他の病気から保護することが再びできるようにするものです。生殖補助技術は HIV を治療することができなく、感染者の人生の間で HIV をコントロールしなければなりません。

どのように？

ARV 処方が、正しい時期に始められることが重要です。HIV 感染の経過があまりにすぐにもなく、遅くもない時期に始められるのが大切です。HIV は CD4 細胞の数を減少させ、免疫系が正常に働くことを阻害します。ひとたび人間が 200 以下の CD4 細胞数を持つならば、彼らはエイズ (AIDS) の段階に達したように定義されます。ARV 処方患者は HIV 感染のステージに戻すことができますが、体から HIV を取り除くことはできません。

TCE の医療チームは、処置を始める前に以下のことを推薦します。

- ・患者は HIV 感染と処置についての基本的な知識を得るために、最初の 7 週の間、毎週のレッスンを受けます。
- ・患者は彼らの健康状態と前向きに生活するための計画を受け入れるために、カウンセリングを受けます。
- ・患者は他のどの感染症も治療し、ARV に着手する前に免疫系を強くするための治療を受けます。

マラウイでの活動を終えて—By ダニエル・ベッティニー

自己紹介:

私の名前はダニエル・ベッティニーで、イタリアから来ました。私はミランの高校で科学を学び、去年に大学（物理学を専攻）を卒業しました。私はCICDプログラム2007年11月チームに参加する前、小学校で働いていました。

派遣国と派遣プロジェクト:

マラウイのミクロングウェという地域にて、Humana People to PeopleのVocational School（職業訓練学校）で活動していました。

活動報告と自分の目標への達成度について:

1. チャンザ小学校:

私は5、7～8学年の生徒に、物理学と少しの地理学、英語を教えました。それはなかなか難しい経験でした。なぜならば生徒は英語を話すことができず、私は彼らの現地語チチュワを話すことができなかったからです。そのために私は、現地の先生に翻訳を頼んでいました。

私が他に見つけたチャレンジは以下の通りです:

- 各教室の生徒の数: 物理学は、モチベーションと高い注意力が大切になります。そうすれば、全ての生徒は一度または少しの休憩の後にも参加することができます。私が少なくとも2つの活動の場所で最低40～最高65人の生徒と仕事をしなければならなかったときから、これは可能ではありえませんでした。しかし、私が援助なしの自分自身を見つめなおしたとき、私が単に両方の現場を監督することができるというわけではありませんでした。
- 材料の欠乏: 私は、フィールドを記録するために石、枝と鋏を使っている線、境界、ゴールとピッチを即席につくらなければならませんでした。その理由としては、はっきりしたピッチと補助材料の欠乏のため、いくらかのゲームが成功していなかったからです。
- クラスの体育の不足: これは、私が期待しなかった問題でした。私は、アフリカの子供たちが外で遊ぶことに慣れていて、全てをすることができたと仮定していました。確かにこれは身体的なレベルで真実でしたが、私は新しい規則を明白にすることが非常に難しいとわかりました。私は、彼らがちょうどフットボールとネットボールをすることに慣れていたと思います - そのため、私はフットボールの選択にもかかわらず、他ゲームと状況（それは基本的に歓迎されました）で彼らを刺激しようとしました。
- 生徒は数学を計算と問題を解くものとしてしか見ていなかったため、私は論理と数学の謎で彼らを少しからかおうとしました。

2. Hopeプロジェクトのサポート・グループ:

以前のボランティアがサポート・グループとともに働いていたので、私はこの活動を引き継ぐことに決めました。最初のミーティングから、私は一部の孤児のために彼らが運営していた特定の商品（石鹸など）を利用したビジネスのためのお金を援助するよう頼まれました。



もちろん、私はビジネスが下降する原因になった問題を分析しようとしたので、2週後に私たちは再び小さなビジネスを始めました。このビジネスは、学校の近くの大きい市場から商品を買って、近くの少しの村の中で商品を売ることにありました。最初、このビジネスは若干の利益を生み出すことができたので、私は満足でした。しかしそれと同時に、私はこの活動の間に多くのトラブルにも直面しました。

・ まず第1に、彼らがこれら特定の商品でどれくらいの収益を手にするのかが知ることが難しく、また、彼らが次のお店を開くためには、いくら必要になるのかが知ることが難しかったです。そして、彼らは誰かが不正行為をしていて、自分のお金、または商品をとって自分のものとしておいているという不平を言っていました。

・ 第2に、数人は販売してお金を返済することが遅れていました。そのために彼らは時々、多くの量の買い物をすることができなくなりました。

： 第3に、商品のタイプと量や最初の資本金に注意します。

これらの金銭問題のために、私は変化をもたらさなければなりませんでしたが、最大の変化は、歓迎されませんでした。売り手を交換することでした。このように、売り手がサポート・グループから選ばれることがなくなりました。それでも、お金を取り戻す問題は受益者の間では静止しました。

これらの月の間に、私はサポート・グループを援助するために、ありうるビジネスと市場向けの商品について情報を収集していました。私は、コミュニティ開発学生にもこの活動に参加してもらいました。しかし、私は自分がするつもりでだった小さなビジネス・プロジェクトが現実になることができないということ、ついに認めなければならなりません。

それは、ビジネスと管理技術（市場向きの製品についての知識）と市場自体についての知識を必要としました。このプロジェクトは管理するのがあまりに難しく、あまりに弱いことがわかりました。そのため、私はしばらく故意にこの活動を止めて、コミュニティ開発の先生に専門的な計画を学生とともに実行することを求めました。

私はまた、サポート・グループに対して、他の活動を予定する、商品を変える、職業訓練学校に食糧を売るということについて、討議するように依頼しました。現在、サポート・グループはこれらのビジネスを運営し、少なくとも、売り手（貧しい家族）はこのプロジェクトから利益を得ています。最近サポート・グループは、石鹼製造を始めることに興味を示しました。

3. 職業訓練学校での自然医療セミナー:

他のNGO団体・Anamed (Action for Natural Medicine) の自然医療セミナーに出席した後に、私は活動プロジェクトである職業訓練学校で、セミナーを開いた人をゲストとして招待することを決めました。

私たちは近くの村の首長、プロジェクト・スタッフ、サポート・グループ、学生、HOPEプロジェクトの看護師と先生の一部を招待しました。私は最後に、人々がこのイベントに対する鮮明な関心を見てとることができました。

4. マタカ村での木の苗床:

セミナーの影響は、木の苗床活動が設立されたときに現れました。学校の農業インストラクターは、この委員会を取り扱おうと申し出ました。私たちは種とチューブを提供しました。この計画は、7000本の苗を持つことです。現在、私たちは併農林業の土地にちょうど700以上のものをもっています。この委員会の狙いは、価値のある木とハーブを周囲の村に分配することです。私たちは、セミナーによって利益を得たというメッセージと情報をパスしようとも考えています。委員会は週に2回会合し、もう2つの村は彼ら自身の木の苗床を持つことに関心を示しました。

5. 食糧安全:

学生が学校でたとえ何を学んでいても、このプロジェクトは実行するべきものでありました。私の「ものをただ与える」ということに対する異論にもかかわらず、私は2つの主な理由から、肥料を受益者に配布することを決めました。その理由とは、彼らにはコンポスト（堆肥）を作るための時間がなく、また、彼らがそのような急激な変化の準備ができていないということです。しかし、私たちは彼らの庭の2つの隆起を私たちが提案した農業方法に捧げるために、受益者に無耕墾農法と植林業木の使用に関して同意しました。

また、私はハーブ菜園プロジェクトのアイデアを提案しました。学校は、薬としてハーブを生産することを始めることができます。そして、コミュニティの周辺でそれらを製品として販売する指示を出すことができます。これは、学校の境界とアルテミシアに沿って、モリンガ木で始められました。

次のDevelopment Instructorsへのガイドライン:

あなたがアフリカに到着してすぐに役に立ち活発に活動できるように、考えと知識を身につけてください。また、マラウイのライフスタイルを経験しようとして下さい。コーヒー、ミルクとココア粉、ファンタ、コカ、ソボ、お菓子とチョコレートなどを消費しないでください。庭を掘ったり、フェンスを建設し、シマ（マラウイの伝統料理）を作り、毎朝5時に起床して水を引き出し、とうもろこしをたたいて、シマや現地の食べ物を食べることを経験してください。現地の人々の毎日の日常を尋ね、学んでください。なぜならば、あなたがこの生活、人生を経験するのはただ1度だけであり、あなたの周りの人々を理解して彼らから学ぶことができる方法でもあるからです。そしてあなたは結局、彼らを援助するよりもっと良い方法を見つけるでしょう。

私がマラウイで好きだったもの:

1. 元気のいいマラウイの人々。マラウイの人々はとても素晴らしく、困っていたらいつも助けてくれる人々です。あなたはどこに行っても、自分の家のように感じるすることができます。
2. 農村での生活
3. 現地のチキン料理
4. サッカー
5. 自然





「この人は誰?」。突然、あるブラジル人が私たちの教室に来て、私たち学生の注意を得ました。彼の名前は、ジアン。2007年9月チームに参加し、ちょうどモザンビークのビリビザのTTC（教員養成学校）プロジェクトから戻ってきたばかりです。

彼は本当にフィールドから出てきたばかりで、私たちに経験と本当の声を伝えてくれました。特に彼は、私たちがCICDで居る間にどのような準備をプロジェクトで活動するためにするべきなのかを熱く語ってくれました。彼が特に言っていたことは、「突然に全てのものを変えようとするな」ということです。

例えば、ある日、ジアンは地元の先生によって行われている数学のクラスに参加しました。そこでジアンはショックを受けたそうです。なぜならば、先生が生徒に対して正しい方法を教えず、正しい知識を知らずに間違っただけを教えていたからです。ジアンはその先生を助けたかったので、いくつかの提案をあたえました。しかし、先生は自分がしていることに満足しており、変えることに興味がありませんでした。ジアンは彼に対し、他の先生らが行う各授業に参加することを提案しました。そしてジアンはそのときから、先生がジアンの考えのいくらかを受け入れ始めたことを理解したそうです。そうして、彼が行う授業が改善されていきました。

私たちはまた、ジアンからCICDでの事前研修期間に私たちが何をすべきなのかについて、その心構えと準備についての意見を聞くことができました。私たちの社会では、私たちは多くの批判に遭遇し、私たちはそこでそれを受け入れる方法とよくしていくための建設的に批判を行うかについてその方法を学びました。しかし、私たちは自分たちに許容可能であることが、他の人にとっては難しくもあることを気づかなければなりません。また、私たちは想像的な方法を探究しなければなりません。なぜならば、私たちが例え多くのものを与えたとしても、それがアフリカの人々にとっては必要としない、あるいは受け入れられないと思うこともあるからです。ジアンもそれがどのようにコミュニティにとって重要であるか、それについて私たちに語ってくれました。

彼は彼が働いた以前に働いていた、日本人のユリカ（CICD2006年9月チーム）というボランティアについて語ってくれました。彼女が最初にモザンビークに来たとき、彼女のポルトガル語は基本レベルだけだったそうです。しかし、彼女のポルトガル語は早く上達し、そのうえに現地語も学びました。ジアンが言うには、村の大部分の人々はいつも彼女を探し、彼女もいつも村に留まり、彼らと一緒にいたそうです。そして、彼がプロジェクトに活動している間、彼はいつも村の人々が彼女の名前を思い起こし、その日本人の女の子についての話を聞いていたそうです。

私たちは常に私たちがなぜ、そこにいるのかについて問い続けなければなりません。私たちは彼らを助け、良いことを行いたいのです。しかしまた、私たちがオープンである限り、私たちは常に現地の人々からも学ぶことができるのです。

また私たちは、プロジェクトが現地の人々を中心に運営されることを知りました。その中で私たち学生がボランティアとして良いアドバイスを行い、改善して貢献していくことで、プロジェクトや現地の人々と一緒に多くのことを行うことができるのでしょう。

ジアンは私たちボランティアが、全てを変えることはできないことを強調していました。そしてまた、誰も私たちが全てを変えることができるということを期待しているわけではないとも語ってくれました。しかしそれと同時に、ジアンは私たちにはできる多くのことがあることも強調し、現地の人と上手に協調して成し遂げていくことが大切であると教えてくれました。

彼のプレゼンテーションを聞いている間、私は彼がプロジェクトにおいて彼がいかに活躍を遂げ、アフリカでの生活や仕事を楽しんだのかを感じることができました。プロジェクト活動の後も、彼はモザンビークで他の NGO とともに給水の技術者として働き、彼がいかにおおくの経験を得たのかについても知ることができました。

Thank you Gian! 私たちここにいる CICD の学生はいつも、プログラムを終えて戻ってきた人々の経験を聞くことが大好きです。アフリカ/インドで活動を終えた人々が、彼らの経験と活動内容について多くの写真とストーリーで伝えてくれることは、私たちに多くの夢と希望をもたらしてくれます。そのとき、私たちここにいる CICD の学生は、私たちがなぜここに居るのかを改めて知るのであります。それは、アフリカ/インドで活動するためです。

2008年11月チーム イー・ジェイ (韓国出身)



College for International Co-operation and Development (CICD)
 @ Winestead Hall, Patrington
 Hull, HU12 0NP
 England
 Email: cicd05@yahoo.co.jp

Contact Details:
 Tel: +44 (0)7813 854 298
 +44 (0)1964 631 826
 Fax: +44 (0)1964 631 695
 Websites:

www.cicdvolunteer-japan.org.uk/
<http://volunteermemories.blog94.fc2.com/>
www.humanapeopletopeople.org